

令和7年度 小学部経営案

1 経営の視点（小学部目標）

- 日常生活に必要な基礎的・基本的な力や集団生活の参加に必要な基礎的な態度を育成する。（①-1）
- 児童の内面や生活を豊かにする授業づくりを実践し、授業改善を図る。（②-1）
- 学生と児童一人一人の良さを大切にし、互いに関わりを深められるような態度を育成する。（③-1）
- 児童と保護者の思いを大切にし、個々の発達段階や特性に応じたキャリア教育を推進する。（④-1）

2 重点施策（具体的方策）

- ・児童一人一人の発達段階や特性に応じた指導に取り組み、家庭と連携し、一人一人の興味・関心に寄り添った支援に取り組む。
- ・中学部・高等部、大学や専門機関との連携を図り、授業力向上のための研究・実践に取り組む。
- ・学生の個性を受け止め、学生の思いに寄り添う姿勢で、児童との関わりや授業づくりについて適切な助言、指導を行う。
- ・児童の好きなこと、楽しいことに一緒に取り組みながら、「なりたい自分」に気付くような支援を行う。

3 学級編成

低ブロック	1組（1年）	3名	高ブロック	3組（4・5年）	6名
	2組（2・3年）	5名		4組（6年）	3名
	教員	4名		教員	4名 非常勤 1名

4 各指導のねらい、内容及び指導形態

（1）各教科等を合わせた指導

① 日常生活の指導

- ・ねらい 児童一人一人の実態に応じた身辺処理能力及び基本的生活習慣の育成を図る。
- ・内 容 衣服の着脱、食事、排泄、清潔、保健、整理整頓などの指導
- ・指導形態 学級、ブロック（性差に応じた指導）

② 生活単元学習

- ・ねらい 生活に基づいた目標や課題を達成するため、具体的な経験をとおして、生活に必要な知識や技能を養うとともに、自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育てる。
- ・内 容 宿泊学習や校外学習などの行事単元、自然に触れ季節感を味わう季節単元、遊び、集会、調理、買い物学習、協働での活動などの単元
- ・指導形態 全学年合同、学級、ブロック（TT）

③ 遊びの指導＜1～3学年＞

- ・ねらい 遊びを学習活動の中心に据えて取り組み、身体活動を活発にし、仲間との関わりを促し、意欲的な活動を育み、心身の発達を促す。
- ・内 容 自由遊び、課題遊び（乗り物遊び、ごっこ遊び、音遊び、リズム遊び、砂遊び、小麦粉遊び、粘土遊び、積み木遊び、紙遊び、固定施設（遊具）を使った遊び、ボール遊び、水遊び、ルールのある遊びなど
- ・指導形態 学級、ブロック（TT）

（2）教科別の指導

① 国語

- ・ねらい 日常生活に必要な国語を基本とした基礎的な能力の育成と、個々の課題に取り組む学習態度の育成を図る。
- ・内 容 児童の実態に応じた国語の指導
- ・指導形態 学級、小グループ

② 算数

- ・ねらい 日常生活に必要な算数を基本とした基礎的な能力の育成と、個々の課題に取り組む学習態度の育成を図る。
- ・内 容 児童の実態に応じた算数の指導
- ・指導形態 学級、小グループ

③ 音楽

<1～3学年>

- ・ねらい 歌や身体表現などの活動をとおり、友達や教師と関わりながら、音楽や身体を動かすことに興味・関心をもてるようにする。
- ・内 容 歌唱、身体表現、リズム遊び、リズム合奏などを組み合わせた内容
- ・指導形態 ブロック (IT)

<4～6学年>

- ・ねらい 友達や教師と一緒にリズムや曲調を感じながら、歌や身体表現、旋律楽器による合奏、鑑賞活動の楽しさを味わい、いろいろな音楽に関心を広げられるようにする。
- ・内 容 歌唱、身体表現、鑑賞、器楽などの内容
- ・指導形態 ブロック (IT)

④ 図画工作

<1～3学年>

- ・ねらい 様々な造形活動をとおり、身近な材料や用具に興味関心をもち、表現する楽しさに気付くことができるようにする。
- ・内 容 身近な材料を用いた造形遊びや絵画、工作、鑑賞などの内容
- ・指導形態 ブロック (IT)

<4～6学年>

- ・ねらい 様々な造形活動をとおり、身近な材料や用具を親しみながら使うことで、表現する楽しさを味わえるようにする。
- ・内 容 身近な材料を用いた造形遊びや絵画、工作、鑑賞などの内容
- ・指導形態 ブロック (IT)

⑤ 体育

<1～3学年>

- ・ねらい 基本的な動きを主とした運動の経験をとおして、体を動かすことを楽しみながら、健康で安全に生活するために必要な体の動きを育てる。
- ・内 容 歩く、走る、跳ぶ、投げるなど基本的な運動、いろいろな器具・用具を使った遊び
- ・指導形態 ブロック (IT)

<4～6学年>

- ・ねらい 基本的な動きを組み合わせた運動の経験をとおして、持久力や調整力を養い、健康の保持増進と体力の向上を図る。
- ・内 容 歩く、走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な運動を中心とし、いろいろな器具、用具を使った運動
- ・指導形態 ブロック (IT)

(3) 特別の教科

○ 道徳

- ・ねらい 教師と児童及び児童相互の人間関係を深めるとともに、宿泊学習や交流及び共同活動などの豊かな経験をとおして、児童の実態や経験に応じた基本的生活習慣、社会生活上のきまりを身に付ける。
- ・内 容 自分自身に関すること、他の人との関わりに関すること、集団や社会との関わりに関すること、自然や崇高なものとの関わりに関すること
- ・指導形態 学級、ブロック

(4) 領域別の指導

① 特別活動

(ア) クラブ活動〈4～6学年〉

- ・ねらい 集団活動の中で、児童の興味・関心のもてる活動をとおり、集団の一員としての自覚を深め、協力して主体的に取り組む態度を育てる。
- ・内 容 運動、音楽、ゲーム、集団歩行など
- ・指導形態 ブロック（TT）

(イ) 集会活動（全校集会・小学部集会）

- ・ねらい 集会の参加をとおり、集団の一員としての自覚を深め、望ましい人間関係を育てる。
- ・内 容 全校・部での集会活動
- ・指導形態 全学年編成

(ウ) 交流及び共同学習（附属幼稚園交流、附属小学校交流、近隣小学校交流など）

- ・ねらい 附属幼稚園や附属小学校、近隣小学校などとともに活動する場を設定し、交流をすることで、社会性や豊かな人間性を育む。
- ・内 容 交流会、共同学習など
- ・指導形態 全学年編成

② 自立活動

- ・ねらい 個々の児童が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。
- ・内 容 健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーションに関すること。
- ・指導形態 個別あるいは小集団で、学級担任を中心に全教員が指導する。

5 週時程

別紙

6 週指導時数

指導の形態		教科等を合わせた指導			教科別の指導					特別の教科 道徳	領域別の指導		合計
形態名	学年	日常生活の指導	生活単元学習	遊びの指導	国語	算数	音楽	図画工作	体育		自立活動	特別活動	
低	1～3年	15.0	3.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	4.0		34.0
高	4～6年	15.0	3.0		2.0	2.0	3.0	2.0	3.0	1.0	2.0	1.0	34.0